平成31年度当初予算

平成31年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計の総額で385億7,950万円(前年度比2.7%増)の予算となりました。

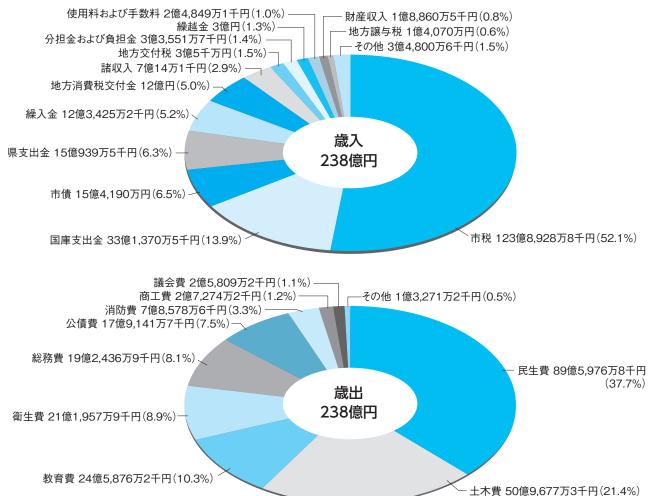
平成31年度においては、第6次知立市総合計画の将来像である『安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち「輝くまち みんなの知立」』の実現や知立市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けた事業などに限られた財源を有効に活用し、優先順位を決めて予算の編成を行いました。

財政の硬直化が進んでいる大変厳しい財政状況下である危機感を十分認識し、新規事業または事業の拡充については、経常的な特定財源の確保やスクラップアンドビルドによることを基本とするとともに、平成30年度に実施しました事務事業点検の結果を踏まえ、当該点検対象となった事業の見直しを行い、真に市民の皆さんが望む、市民の皆さんにとって必要な事業の推進を図り、長期に渡って安定的かつ健全な財政基盤を確立することを基本姿勢としています。

▶問合せ 財務課 財政係 (☎95-0146)

1. 一般会計 総額238億円(前年度比 4,500万円 0.2%増)

()内は構成比



2. 特別会計 総額95億9,260万円 (前年度比 △21億5,650万円 18.4%減)

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	52億1,330万円	0.1%增
公共下水道事業※		皆減
土地取得	160万円	6.7%増
介護保険	35億4,190万円	3.8%増
後期高齢者医療	8億3,580万円	4.8%增

3. 企業会計 総額51億8,690万円 (前年度比 31億2,690万円 151.8%増)

会計名	予算額	前年度比
水道事業	22億8,500万円	10.9%増
下水道事業※	29億 190万円	皆増

水道事業(内訳) 下水道事業(内訳)

収益的支出 13億5,200万円 収益的支出 13億2,040万円 資本的支出 9億3,300万円 資本的支出 15億8,150万円 ※下水道事業は、地方公営企業法適用に伴い、平成31年度から 特別会計から企業会計へ移行します。



平成31年度 当初予算 主要事業の紹介

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

1 市町村防災情報システム運用事業 【新規】 1,883千円 (安心安全課)

庁舎の専用端末以外からも愛知県防災情報システムに接続・連携をできるようにすることで、災害時に おける情報共有、伝達を円滑にし、業務の迅速化・効率化を図ります。

2 緊急時の受入対応体制支援事業 【新規】 800千円 (福祉課)

障がい者を介護する人の疾病、死亡、事故その他の理由により、障がい者の緊急短期入所を行う事業所の受入対応体制を支援し、障がい者の生活の安定を図ります。

3 障害者相談支援事業【拡充】 42.199千円(福祉課)

平成32年度(2020年度)の基幹相談支援センターの設置に向け、知立市社会福祉協議会の障がい者相談支援センターの相談員を2人増員し、相談体制の強化を図ります。

4 児童発達支援センター開設事業 【新規】 51千円 (子ども課)

平成32年度(2020年度)から、中央子育て支援センター内において、市内在住の障がい児の療育、発達支援を行うため、児童発達支援センターを開設することに備え、必要な準備を行います。

5 骨髓提供者等支援事業【新規】 210千円(健康増進課)

骨髄提供者の入院・通院等により発生する負担を軽減するため、骨髄提供者およびその勤務する事業所 に対して補助を行うことにより、骨髄移植の推進を図ります。

6 外国語版ごみ出しガイドブック作成事業【臨時】 2,864千円 (環境課)

ごみ集積所における立ち番を廃止することから、外国人向けに多言語によるガイドブックを作成し、外国人のごみ分別意識を高め、適切なごみ出しを支援します。

人々が集う交流のまちづくり

1 空家対策事業【拡充】 1,538千円 (建築課)

緊急に危険を回避する必要がある空家等について、法令の規定による諸手続きが間に合わない場合に、「知立市空家等の適切な管理に関する条例」の規定に基づき、必要最小限の緊急安全措置を速やかに実施します。

2 幹線市道路面緊急補修事業 83,800千円 (土木課)

1・2級幹線道路の舗装修繕を実施することで自動車の安全で快適な走行環境を確保し、安心安全な道路の維持を図ります。

3 知立中央通線道路改良事業 93.500千円 (土木課)

知立中央通線と上重原町13号線の交差点に信号が設置できるよう、知立中央通線に右折帯を設置し、 交差点改良を行い、歩行者の安全確保、車両交通の円滑化を図ります。

4 東上重原西中線歩道整備事業 64.300千円 (土木課)

東上重原西中線(上重原町本郷交差点から西中町西中苑交差点までの区間)の歩道を整備し、歩道空間の充実、歩行者の安全確保を図ります。

5 谷田町11号線道路改良事業【新規】 7.500千円(土木課)

県道安城知立線と牛田西中線の交差点(谷田交番前交差点)への右折帯設置に伴い、県道へ直角に接続させる道路改良を行うことで、歩行者の安全確保、車両交通の円滑化を図ります。

6 北引馬野排水路改修事業【新規】 12,100千円(土木課)

雨水排水処理に支障をきたしている地区の排水整備を行い、水害のない安心安全なまちづくりを図ります。

7 八橋東西線整備事業 194,435千円(都市計画課)



- 8 花園里線整備事業 131,500千円 (都市計画課)
- 9 知立環状線整備事業 137,446千円 (都市計画課)
- 10 知立南北線整備事業 5,487千円 (都市計画課)
- 11 知立駅周辺土地区画整理事業 1.108.493千円(都市開発課)
- 12 知立連続立体交差事業 815,000千円 (都市開発課)
- 13 西新地地区土地利用計画調査事業 13.853千円 (まちづくり課)
- 14 知立駅南土地区画整理事業 7,500千円 (都市開発課)
- 15 知立連続立体交差関連事業 95,000千円 (都市開発課)

駅周辺整備事業 (9~15) の 事業費2,182,779千円 (前年比△699,461千円)

16 市制50周年事業【臨時】 7.390千円(企画政策課)

平成32年(2020年)に市制施行50周年を迎えるに当たり、記念品の作成およびシティプロモーショ ン動画の制作並びにこれらによる PR などを通じて、市への愛着や誇りの醸成を図ります。

17 八橋かきつばた園整備事業【臨時】 8,528千円(経済課)

知立市の重要な観光資源である八橋かきつばた園のかきつばたの生育不良の原因と思われる病原菌の排 除を目的として、かきつばた池の土壌の入替えを実施します。

18 企業立地推進事業【新規】 5,175千円(企業立地推進課)

企業の新規立地や市内企業の事業拡大を推進するため、企業立地の促進に係る方針や基本構想の策定、 優遇制度等の研究を行います。

次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

1 公立保育園第三者評価事業【臨時】 1,485千円(子ども課)

公正・中立な第三者機関により、専門的かつ客観的な立場からの評価を受け、公立保育園運営のサービ ス向上を図ります。

2 逢妻保育園乳児保育事業【臨時】 2,367千円 (子ども課)

逢妻保育園で乳児保育を実施することにより、待機児童の解消を図ります。

3 上重原西保育園保全事業【臨時】 191,261千円 (子ども課)

更新の必要がある上重原西保育園の大規模改修工事を実施し、施設の長寿命化およびより安心安全な保 育園運営を図ります。

4 昭和児童センター通訳増員事業【拡充】 712千円(子ども課)

昭和児童センターで実施している乳幼児親子教室にタガログ語等の通訳者を配置することにより、外国 人親子の居場所や交流の場所を確保します。

5 昭和児童センター保全事業【臨時】 7.000千円(子ども課)

昭和児童センターの屋上防水改修工事を行うことにより、施設の適切な保全を図ります。

6 少人数学級事業 84,273千円(学校教育課)

きめ細かな学校教育を推進するため、市費負担教員(少人数学級対応教員)を学級担任として配置し、 小学校全学年において少人数学級(35人学級)運営を実施します。

7 子どもサポート教員配置事業【拡充】 28,579千円(学校教育課)

各小中学校に1人ずつ配置している子どもサポート教員について、知立東小学校の配置数を2人増員し て3人とすることで、外国人児童生徒へのきめ細かな対応を図るとともに、不登校やいじめのない学校環 境づくりを推進します。

8 大型備品整備事業(中学校)【拡充】 10,904千円(教育庶務課)

老朽化した牛乳保冷庫および給食検食用冷凍庫の更新、ICT教育推進のための普通教室(中学校)への 大型ディスプレイの設置を行います。

平成31年度 当初予算 主要事業の紹介

芸術や文化を大切にするまちづくり

1 市民体育館営繕事業(柔剣道場エアコン設置工事)【臨時】 3.126千円(生涯学習スポーツ課)

柔道場・剣道場は乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の利用があり、利用者の熱中症予防と利便性の向 上を図るため、エアコンを設置します。

2 市民体育館屋根防水外壁改修事業【臨時】 71.376千円(生涯学習スポーツ課)

平成30年度に実施した外壁打診調査の結果を受け、外壁タイルの改修及び劣化が著しい屋根防水の改 修を行うことで、施設の適切な保全を図ります。

3 文化芸術推進基本計画策定事業【臨時】 2,893千円(文化課)

文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現 に向けて、平成31年度(2019年度)と平成32年度(2020年度)の2か年で文化芸術推進基本計画の策 定を行います。

4 文化会館空調設備等改修事業【臨時】 24,364千円(文化課)

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、省エネ設備(空調設備・LED 照明等)を整備するこ とにより、温室効果ガス排出の削減を図ります。平成31年度(2019年度)については、工事設計を行います。

5 文化会館屋上改修事業【臨時】 49.863千円(文化課)

劣化が著しいかきつばたホール屋上の改修を行うことで、施設の適切な保全を図ります。

知立が輝くための仕組みづくり

旅券事務事業 2,942千円(市民課)

県からの権限移譲を受け、平成31年4月より市窓口で旅券事務手続が可能になります。

地方税共通納税システム導入事業 【新規】 18.823千円(税務課)

地方税共通納税システムの導入を行うため、システム改修を行い、納税者の利便性の向上を図ります。

その他の主要事業

知立市都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定事業【臨時】 23.850千円(都市計画課)

知立市の都市計画に関する基本的な方針を示し、今後のまちづくりの将来像を示す知立市都市計画マス タープランを改定するとともに、知立市の緑地の保全および緑化の推進に関する基本計画である知立市緑 の基本計画を改定します。

特別会計・企業会計

- 国民健康保険特別会計 被保険者の保険給付と特定健康診査等保健事業を行います。なお、平成30年4月 から、国民健康保険は県単位による財政運営が行われています。
- 2 介護保険特別会計 地域支援事業において、地域リハビリテーション活動支援事業およびまちかど運動教 室の拡充を行います。
- 3 水道事業会計 災害時応急資機材等整備事業において、地震等の災害時において可能な限り水道水を供給 するため、応急給水資機材および応急給水施設の整備を引き続き行います。
- 下水道事業会計 地方公営企業法の財務規定等の適用により、特別会計(公共下水道事業特別会計)から 企業会計(下水道事業会計)へ移行します。

知立市の予算を家計に例えると…

知立市の一般会計予算238億円を平成29年分民間給与実態統計調査(国税庁) 平均給与432万2千円(月収36万円)の家計に例えてみました。

■知立市1か月の家計簿(単位:円)

○収入

給与(市税、交付税、交付金等)	290,000
うち基本給(市税)	187,000
うち諸手当(国県支出金等)	103,000
副業収入(使用料・その他収入等)	28,000
貯金切崩し(繰入金)	19,000
銀行からの借り入れ(市債)	23,000
合 計	360,000

○貯金および借金残高(平成30年度末時点見込)

貯金残高	628,000
借金残高	3,214,000

○支出

食費 (人件費)	61,000
医療費(扶助費)	73,000
ローン返済費(公債費)	27,000
家・車・家電等の買替え・修繕 (普通建設・維持補修費)	55,000
光熱水費(物件費・補助費等)	112,000
貯金(積立金・投資・出資・貸付金)	8,000
子どもへの仕送り(繰出金)	23,000
その他(予備費)	1,000
승 計	360,000